

まちの声



今回の「まちの声」は、1区20町内にお住まいの「高野 則子さん」から、お話を伺いました。



Q 議会だよりを読んでいますか？感想をお聞かせ下さい。

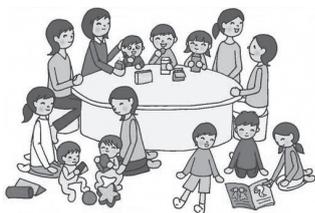
A 毎回読んでいます。文字ばかりではなく、挿絵なども入っています。主なQ & Aのページは、簡潔で分かりやすいです。



Q 日頃、感じられる町のことに、ご意見はありませんか？妹背牛町の福祉や子育て支援などへのご意見はありませんか？

A 妹背牛町は、町民のためにととても良いことを沢山行っているとありますが、PRやアピールが少なすぎると思います。

今、3町内で空き家をリフォーム中で、子育て支援の建物になるようですが、途中であっても知りたいたいと思います。完成した後は、出来るだけ多くの子どもたちが活用し、楽しんでほしいと思います。



Q 議会だよりに要望はありますか。

A 編集後記に必ず「皆様のご意見をお聞かせください」とありますが、具体的にはどのような方法でと思っています。議員の方へ直接伝えるという事？と思ってしまうように伝えれば良いのかわかりません。まずは具体的に示していただければと思います。



Q その他、何かございませんか？

A このコロナ禍で、イベントの中止や自粛生活を余儀なくされているので、早く以前の様な生活に戻ってくることを願っています。



編集後記

第2回定例会も終わりました。6人の議員より一般質問があり、活発な討論が行われました。コロナワクチンの接種状況に関する質問もあり、妹背牛町は順調に進んでいる印象を受けました。様々な情報が飛び交う中、5月から始まった65歳以上の方へのワクチン接種では、倦怠感や発熱などの症状が出た方もいたとの話を聞きましたが、6月には8割以上が終えている状況で、7月から64歳以下の方へのワクチン接種が始まります。しかし、道内では新たな変異株が出現するなど油断できない状況は続いています。マスクの着用、アルコール消毒、三密の回避など、これまで同様に感染予防を行う必要があります。今年も「夏まつり」など町の大きな行事が自粛や中止となっていますが、そんな中、妹背牛の経済発展のためプレミアム商品券が発売され、多くの方々買い求めました。早く様々なイベントが開催され、楽しい時間が戻ってくることを願うばかりです。



広報特別委員会

- 委員長 佐々木和夫
- 副委員長 田中 春夫
- 委員 渡辺 倫代